

Japanese Association of Trombonists

JAT NEWS

第 56 号

日本トロンボーン協会会報 2002. 3 発行

事務局：〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-14MBS音羽ビル5F プロアルテムジケ内 Tel. 03-3943-6677 Fax. 03-3943-6659
郵便振込：日本トロンボーン協会事務局 東京 9-175867

2002 年国際トロンボーンフェスティバル

今年5月23日から27日までアメリカテキサス州アプトンの北テキサス大学 (University of North Texas) で開かれる2002年国際トロンボーンフェスティバルは最高の音楽家やアンサンブルの演奏を聴き、食事をし、同じ楽器を愛する仲間との再会や新しい出会いの場として国際トロンボーン協会史上最高のイベントとなるでしょう。ここではトロンボーンによるあらゆる種類の音楽、楽器、トロンボーンに関するケース、マウスピースなどのアクセサリ、楽譜、CDと出会うという楽しみがあります。下記のようなゲスト陣が予定されています。

先月行われましたソルトレーク冬期オリンピックでは日本は世界の進歩に取り残された形になりました。そんな折世界を見、聴いておくのは大いに価値あることです。

*Christian Lindberg

(クリスチャン・リンドバーグ)

performing Luciano Berio's Music for Trombone with the Ft. Worth Symphony, Miguel Harth-Bedoya, Music Director

*Jazz Artist Jiggs Whigham (ジグズ・ウィグハム)

ヨーロッパで活躍するアメリカ人

*Bass trombonist Ben van Dijk (ベン・ヴァン・ダイク)

*Dallas Symphony Orchestra Low Brass

(ダラス交響楽団 TB-Tuba セクション)

*Rhythm and Brass

*Ian Bousfield (イアン・バウスフィールド)

*Jazz Artist Tom "Bones" Malone (トム・マローン)

ほとんどの金管を演奏するマルチプレーヤー

*Trombones de Costa Rica

*Tom Ashworth (トム・アッシュワース)

*Spiritual to the Bone 救世軍のジャズアンサンブル

*Trombone Unit 2000

*Toulon Competition Winner Jørgen van Rijen

(トゥーロン音楽コンクール入賞者)

ユルゲン・ヴァン・リエン)

*Bones Apart

.....
非会員参加料金

(会員は1日あたり10ドル安くなります)

全日程参加 249ドル(4月15日までの申し込み)

299ドル(4月16日以降の申し込み)

部分参加 65ドル/日(4月15日までの申し込み)

75ドル/日(4月16日以降の申し込み)

●申し込み方法● 姓名、性別、年齢、住所、郵便番号、国名、電話番号& FAX, e-mailを下記に送りますが、できればまず会員になって(年会費50ドルくらい)専用申し込み用紙の送付を受けた方が良いでしょう。

●申込先●

Tony Baker, Director International Trombone Festival

2002 University of North Texas P.O. Box 305155

Denton, TX 76203 U.S.A.

.....宿泊.....

宿泊先としては Radisson Hotel Denton がフェスティバルの公式ホテルで一日99ドル(税込み)。コンサートや夜遅いジャズセッションが行われるマティソンコンサートホールの向いにあります。

予約は(800) 333-3333 照会コードはTROMB1。または

<http://www.radisson.com/dentontx>,

この他 大学の寮を利用することもできます。

軽朝食付き シングル Single Room 25ドル/1日,

ツイン Double Room 20ドル/1日

*寮の申し込み先は参加申し込みと同じ

第8回日本トロンボーンコンペティション報告

2001年11月18日に行われた協会主催「第8回日本トロンボーン・コンペティション」において日本全国の参加者から優秀者が選ばれました。お名前、学校、演奏曲目は以下の通りです。(敬称略)

第一位：山下 友輔(鹿児島県立甲南高等学校) S. シューレーク：ソナタ

第二位：竹宮 千恵(鹿児島県立鶴丸高等学校) G.F. ヘンデル：コンチェルト

第三位：リチャード ヘネブリー(東京都立北多摩高等学校) P. マッカーティ：ソナタ

奨励賞：小椋 亮介(東京都立足立高等学校) 白井 友里恵(船橋市立法田中学校) 松永 味加子(東京都立日野台高等学校)

主催：日本トロンボーン協会

日時：2001年11月18日(日) 午前10:00～

場所：洗足学園大学溝口キャンパス

審査員：伊藤 清、井上 順平、白石 直之、首藤 健一、関根 五郎、永濱 幸雄、中村 博邦、春山 和雄、前田 保、三輪 純生

ゲスト審査員：ミシェル・ベック

(ソリスト、パリ国立音楽院教授)

協賛：真田貿易(有)、(株)セントラル楽器、(株)ダク、(株)ネコ楽器、野中貿易(株)ピュッフェ・クラボン(株)、(株)山野楽器、ヤマハ(株)、(株)ヤマハミュージック横浜
協力：洗足学園大学、プロアルテムジク、ハラヤミュージックエンタープライズ

【コンペティションとは？】日本トロンボーン協会ではトロンボーン音楽振興と若い優秀な人材育成を目的として毎年「トロンボーン・コンペティション」を開催しています。これは若いトロンボーン奏者のためのコンクールで、18才以下ならどなたでも参加できます。過去の入賞者はすでに海外のオーケストラでプロ奏者として活躍している人や、海外コンクールなどに入賞を果たすなど輝かしい実績をあげています。予選、本選とも公開で行われ、表彰式ではゲスト審査員のミニコンサートも催されます。

事務局からのお願い

住所変更

された方はお知らせ下さい。

TEL: 03-3943-6677

FAX: 03-3943-6659

100人のトロンボーンコンサート2001 制作後記

100人のトロンボーンコンサート2001 実行委員会
代表 村上準一郎

「100人のトロンボーンコンサート2001」についてはみなさん御存じのことと思います。会員の方も多数見られ有り難うございました。コンサートの演奏に関してはビデオやCDでお聞き下さい。ここでは制作にあたっての裏話をしましょう。

●薄れた過去の記憶

97に「100人のコンサート」を開いた私はそれまでの一年間の辛さゆえに「二度とこのコンサートはやるまい」と思いました。その頃はパソコンを持っていなかったため出演者との連絡は電話かファックス、たまに郵便と言う状態。机の上に子機を置いて一日中打ち合わせをし子機の電源が切れたらその日の仕事は終わりにしていました。子機をこき使っていました。それ以来子機の調子は悪いです。アメリカとの連絡も電話かファックス、ただしハリリー・ベッツ氏とは込み入った打ち合わせになるのでファックスのみ。ベッツ氏はファックスを持っておらずKINKO'Sに通って送受信をしていました。ジョージ・ロバーツ氏は夜中の3時4時に電話をくれました・・・が、ネボケ頭の私はすぐには英語が出てこないで(英会話は不得手)、後でかけ直しますとお願いすることもしばしばでした。毎朝五時に犬に起こされ散歩に行っている私でしたが、頭の目醒めは悪かったです。

ベッツ氏から譜面が届くと出演者のパート分け(いわゆる乗り番)を決め人数分の譜面をコピーします。熱くなったコピー機の前に何時間も立ち自分が倒れるかコピー機が壊れるかと言う極限状態。それを出演者ごとにまとめて封筒に入れ発送。とにかく辛い日々だったのです。

ところが99、ロイド、ロバーツの両氏が演奏旅行で来日した折り、彼等の美しい演奏を再び聴き二年前の辛い記憶も薄れ「もう一度彼等のダイヤモンドのように貴重な演奏を日本の多くの人に聴いてもらわなければ・・・」と思ってしまったのでした。後で自分の記憶力の悪さを恨みました。・・・で、両氏に「2001年にもう一度100人のコンサートを聞きませんか」と尋ねると即O.K.。実はロイド氏は「またやろう」とか、ロバーツ氏も「毎年やろう」と恐いことを言っていたのでした。話が決まると彼等はすぐにベッツ氏と曲目の検討に入りました。その結果メインに「ウエストサイド物語」を演奏しようと言うことになりベッツ氏はかなり編曲を進めていました。何故ならロイド・エリオット氏はこの映画のオリジナルサウンドトラックで演奏しているのですから。本家本元がいて演奏しない手はない。・・・でしよ?

●E-MAIL やってて良かった

今回は私も一昨年にパソコンを購入しメールができたのでロイド、ベッツ両氏と楽に交信できロバーツ氏も一緒に



リハーサル 中央右ミッシェル・ベック

ハリー・ベッツ/ロイド・エリオット



ジャズステージリハーサル ロイド氏とベック氏 指揮 ハリー・ベッツ

早川 潔/ジャック・ヘイズ



クラシックステージリハーサル ベック氏と指揮の榊原 栄氏

壮観です



住んでおられる息子さんが代わりに送受信してくれました。で、ず、が、74歳だったロバーツ氏は昨年はじめパソコンを買いメールを始められました。また「トウキョウトロンボーントリビュート」を書き下ろして下さったジャック・ヘイズ氏とは娘さんのジョアンさんがやはりメールで交信して下さいました。それで、ほとんど(ミッシェル・ベック氏だけはコルトワの事務所をとおしての連絡でしたのでかなり時間がかかりました)の交信はスムーズに行き制作に関して楽観していました。

しかし事件は去年の5月に起きました。そろそろチラシを作ると言う時にバーンスタインの作品は彼の事務所の許可無く編曲も演奏もしてはならないことが分かり、(ベッツ氏らもそのことを御存知なかったようで)我々は曲目の変更を余儀無くされました。ベッツ氏はすぐに新たな選曲に取り組み、たった二週間程でアイデアを練り上げました。おかげでチラシの制作はそれほど遅れずに済みました。79才だったベッツ氏の夕方の精神力と音楽にかける情熱は尊敬に値します。その後八月末から九月初旬に届く予定だった彼の譜面はなかなか届きませんでした。彼からは他の仕事で忙しいと言うことと編曲を完璧にしてから送りたいと言う「言い訳」というタイトルのメールが何度か届きました。

そんな折9月11日のニューヨークのあの事件が起きました。コンサートは11月だがゲスト連は来日できるのだろうか? コンサートはアメリカ色が濃い、テロの標的にならないだろうか? 客席にセキュリティを配置するべきか? などと真面目に考えていました。_____ 今となれば大袈裟ではあかしく思えますがコンサートの後、前回の協力者花坂義孝氏にこのことを話すと彼も同じように心配していたそうです。_____ その後プログラムの作成とコンサートの細かい下準備をしながら譜面の到着を待ちました。十月半ばから少しずつ譜面は到着し最後に残っていたシネママジックのリズムセクションが届いたのはコンサートの一週間前でした。

ロイド氏一行がロスアンジェルスを発つ前日ロイド氏からロバーツ氏が背中への痛みのため来日できなくなったとメールが入り、ベッツ氏からもどう対処するかと言うメールが入りました。私は誰か彼の代わりになるバストロ奏者を頼んでくれないかと尋ねましたがベッツ氏からはジョージのようなバストロ吹きはいないとのお返事。結局ロイド氏とベック氏が理め合わせをすることによって決着。ベッツ氏は急ぎよソノパートを書き換えたのでした。こうした早い対応もメールのお陰でした。

●成田

一行が成田に到着する日の朝、ジョアンの御主人サムから飛行機が二時間遅れるとのメール。私は花坂義孝、牧瀬顕利、早川潔の各氏と成田へ向かい、ワイからくるロイド氏の二人の娘さん、サンフランシスコからコンサートに参加するピリー・ロビンソン氏を迎え到着ロビーで一行を待ちました。そうしていると凄く背の高い人物が出てきました。大リーグのピッチャー、ランティ・ジョンソンで

す。彼は数人の報道陣に囲まれ駐車場の方へ歩き出し、それをデジカメを手に追い掛けた早川氏はあまりに早いランティ・ジョンソンの歩みに追いつけず、彼の後ろ頭だけを撮って帰ってきました。ロイド一行は(予定どおり)二時間遅れて到着。にこやかに現れたベッツ氏に「ボギー&ベス」のロバーツ氏の代わりをやるかと聞かれ目が点になりながらも演奏家人生こんな名譽はないと二つ返事で受けてしまう。ホテルに着いて打ち合わせ。するとチューバ奏者ロジャー・ボボがロビーに……。早川氏が声をかけると彼はロイド氏と顔見知りでした。何故って彼等は映画「ジョーズ」で共演している上手いやジョーズ繋がり。

一日目二日目のリハーサルは狭いながらも(広い部屋を借りたつもりなのだが)100人の時私の他数人は部屋の外で譜面を見るだけ)無事に進み当日を迎える。ステージリハは押しこみで進んだものの無事に終わりそうでした。ところが、ベック氏がホテルにステージ衣装を置いてきたと言う。会場は上野、ホテルは池袋電車で20分以上かかる。リハを中断してベック氏は山手線で衣装をとりに戻ったのです。音楽家にはそれぞれ習慣があるからこれも致し方ないことか? とにもかくにもコンサートは無事終了。前回に増してアンサンブルが良くなっている様でした。人々の気持ちが良い方向へ一つになって向かった時、人の想像をはるかに超えて素晴らしいものになることを今回も思い知らされました。どこかの国の国会のように抵抗勢力や派閥争いをしていようでは何も生み出されないでしょう。ここだけの話、前回のコンサートの時、仲が悪いはずの人たちがお互い協力しあい共に演奏することを楽しんでたのには感動を覚えました。

●オーヴァーダビング

私の疲労が普通の疲労に戻ったのは一月後。やっと元気になった12月末CDのための録音をチェックしました。するとどうしても「トゥリビュートトゥフランクシナトラ」と「エンブレシイアブル ユー」はロバーツ氏の音が必要だと感じました。年が明けて暫くして(実は元旦にパソコンが壊れ全データが消失、……今は電話の親機も調子悪い……メールを送れませんでした)そのことをベッツ、ロイド両氏に相談すると同意して下さりロバーツ氏が演奏してくれることになりました。彼等はステファニーからバラマウント映画のスタジオの提供を受け、長年共に仕事をしてきたベテラン録音技師ダニー・ウォーレン氏、助手のドゥルガッチ氏の協力を得て満足の行く録音ができたそうです。そのため2月22日に発売予定でしたCDは発売が遅れますがビデオはコンサートそのままを収録し予定通り出来上がりました。ビデオ、CD それぞれ違った楽しみがあります。このコンサートの企画はいくつになっても音楽に対する熱心な姿勢と人生を楽しむ心を持ち続ける一流の演奏家と、同じくトロンボーンと音楽を愛して止まない人々の協力無しには開催は不可能でした。私がこれを企画したのもそんな人々の心を感じていたからなのです。

トロンボーン基礎レッスン

村上準一郎

初心者やアマチュアの方を教えていてよく感じる場合があります。それらについて少し述べます。

(1) 呼吸法を大切に思っていないことです。管楽器を演奏するには深い息を必要とします。良い音を出すためです。始めだけたくさん吸えば良いと思っている人多いですね。曲の間に何度もブレスをとりませんが、そのブレスが充分でない一つの音楽になりません。ブレスごとの深い呼吸です。

(2) 息を吐き音を出す時、胸が下がる人がいます。ろっ骨で肺を押すと危険です。横隔膜を主に使いますが、その使い方が分からない様です。ロングトーンをしながらみぞおちを誰かに拳で押してもらおうとヒントになるでしょう。コツが分かったらロングトーンでゆっくりとそれを身に付けます。間違った練習法はすぐに止め、正しい方法を繰り返して自分のものにします。

(3) アンブシュアの作り方が分からない様です。唇自体には決して力を入れず、周りの筋肉をしっかり左右に引いてそれによって唇に張りを与えます。ギターや弦のように、高音でも低音でも同じことです。張りが緩いと演奏中に歯と唇の間に空気が入り過ぎて唇が正しく振動しません。この正しい振動が美しい音の命です。

(4) スライドポジションを目で決めている人がいます。ポジションは音によって多様に変化するので目で位置を決めるのはナンセンスです。音程を耳で聴き、耳がポジションを決めるのです。その前に正しい音程感を持つことが必要ですね。オンチだと思う人は正しく調律されたピアノにピッタリと音程を合わせて歌うことです。必ずオンチは治ります。心がけ次第ですけれど、。。。

(5) スライディングが遅い人がいます。次の音を出すタイミングになって前のポジションを出発しても絶対に間に合いません。トロンボーンは音を変えるのに何センチもスライドを移動させますが、少ししか移動しない木管楽器やピストン楽器も同じことです。新しく音を出す時その音にあったポジションにスライドがあることです。百分の一秒でも千分の一秒でも先に着いていれば良いのです。スピードスケートのようにタイムをとる必要はありません。ゆっくりなテンポで先先にスライドを送る練習をし、早くなったら耳と心で聞き分けることです。

(6) 初心者の時に専門家に習わず先輩や学校の先生に習う人が多いです。無駄に悩む日々を送ることになります。正しい奏法を始めから身に付けましょう。今からでも遅くはありません、良い先生にレッスンを受けることです。

(7) 演奏を上達させたいと思っている人ばかりです。この情熱と夢がすべての原動力です。夢を諦めないで。

・・・音大生や音大卒業直後の人を聴いて不思議に思うことがあります。

(1) 大きなマウスピースが流行っていますね。テナーの人はバストロみたいな、バストロの人はテューバみたいな音していますね。するとテューバ奏者はどんな音出せば良いのです？・・・元ロスフィルのロジャー・ボボは小ぶりのB管でしたが、明るくはっきりした音をしてましたよ。それにテナートロンボーンの音ってどんな魅力がありましたっけ、トロンボーンの代表的存在です。あの素晴らしい魅力忘れられてしまったのかな？ みなさんは御存知ですよ。

(2) 譜面の吹き方を習ってないのでしょうか。音符の扱いが正しくない様です。又、譜面は吹けてもその音を音楽にしようとはしないのです。音楽大学で演奏技術を教えても音楽は教えてくれない様ですよ。実に不思議です。

(3) これは過去のトロンボーンフェスティバルでのことですが音大生のグループがいくつも出演することがありました。彼等は本番直前に来て直後に「お疲れ様～」と帰ってしまうのです。他の演奏を聴こうとしませんでした。本当に音楽が好きなののでしょうか？技術はあっても夢はないのでしょうか？ 誠に不思議です。ただし、立派な音楽家が誕生していることも事実ですでお忘れなく。

会報編集部より

この会報は日本トロンボーン協会の主旨に添い、内外のトロンボーン奏者、トロンボーン愛好家、音楽ファンを応援すべく発行されています。

会員の皆様の中で会報制作に参加してみたいと思われる方は村上まで御一報下さい。また、情報・質問等もお寄せ下さい。お待ちしております。

会報編集担当

村上 準一郎

TEL&FAX 03-3484-8577

E-Mail : thumbs-up@par.odn.ne.jp

日本トロンボーン協会

E-Mail : jat@viola.ocn.ne.jp

INFORMATION

チャリティ ソロ&アンサンブル

トロンボーン フェスティバルコンサート2

2002年3月17日(日) 14:00開演 鹿児島市民文化第1ホール 1,000円(当日1,200円)

出演: ゲスト: 花坂 義孝 沖田 肇子(フルート) 鹿児島トロンボーンプレイヤーズ: 小坂 達也 他40名 コンサートバンド35名

プログラム: トロンボーン協奏曲(グレンダール) 市民の為にファンファーレ サマータイム 笑うトロンボーン 76本のトロンボーン ラッサストロンボーン ビートルズメドレー フルート協奏曲(シャミナーテ)等

原 尚二 skkharas@jeans.ocn.ne.jp

Tel. Fax. 099-265-8002

〒891-0102 鹿児島市屋ヶ峯4-18-17

Trombone Quartet 5656 & レントラー トロンボーン四重奏団

第2回ジョイントコンサート in 京都

日時: 2002年3月17日(日) 2:00pm 開演(1:30開場)

会場: 京都文化博物館 別館ホール(京都市中京区高倉三条上ル)

曲目: ワグナー/エルザの大聖堂への行進 スザート/「ダンスリー」組曲 ベートーヴェン/2つのオーボエとイングリッシュホルンのための三重奏曲 Op. 87 バッハ/「フーガの技法」より対位法第1、9番他入場無料(要整理券)

問合せ: 072-855-0758(村尾) または h_murao@nifty.ne.jp

【プロフィール】(出演者の業歴へ) <Trombone Quartet 5656(ゴロゴロ)> 1991年ごろ京都大学交響楽団トロンボーンパートの現役・084名により結成される。以来、これまでに7回の演奏会を京都コンサートホール等にて開催。現在までに7回の定期演奏会をはじめ、他のアマチュアトロンボーン四重奏団とのジョイントコンサートも2回行っている。暖かい響きを求め、ウィーンモダルのトロンボーンを使用しており、このことが縁で、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団バストロンボーン奏者カール・ヤイトラー氏と一緒に演奏をする機会にも恵まれた。

【整理券の入手方法】1) インターネットからダウンロードこの整理券を印刷のうえお持ちください。2) 以下の方法でご請求いただければ、こちらからお送りさせていただきます。電子メール h_murao@nifty.ne.jp 電話またはFAX 072-855-0758(村尾) *ご住所、お名前、電話・FAX番号をお知らせください

東京交響楽団トロンボーン四重奏団

出演 荻野 昇 若狭 和良 上原 規照 宮本 直樹

プログラム J.M. Defaye arr.: CARMEN ARIA/solo N. Ogino Tchaikovsky Digest /solo K. Wakasa G. Tibor:

Introduzione-Tema e Variazioni J. Charpentier: Quatuor de Forme Liturgique

日時 2002年4月11日(木)

場所 三鷹市芸術文化センター 風のホール

開場 18:30 開演 19:00 全席自由¥3,500

※芸術文化センター JR三鷹駅南口5・6番バスのりばから3つ目「八幡前、芸術文化センター」下車すぐ、または7番バスのりばから「八幡前」下車1分。または三鷹駅より徒歩で約15分

お問い合わせ 東京交響楽団事務局 169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3369-1661 FAX 03-3360-8249

東京ブラスプレイヤーズ ~チャペルコンサート2002~

2002年4月12日(金) 18:30開演(18:00開場)

於: 同仁キリスト教会礼拝堂(地下鉄有楽町線・護国寺下車・徒歩5分)

J.S. バッハ/パッサカリアとフーガ ハ短調 G. ラングフォード/ロンドンの小景 G. リチャーズ/高貴なる葡萄酒を讀んで 他

トロンバット海野 匡代 金子 敦則 原 進 吉田 幸男 ホルン岩切 理恵
トロンボーン堂阪 知之 利根川 勝 山本 靖之 バストロンボーン 沼田 司 チューバ 谷口 純一
●入場料 一般3500円 中高生2500円 小学生1500円
●チケット問い合わせ Phone 090-9117-9065 Fax 049-245-1735 tonydorsey@fem.dion.ne.jp 利根川まで

箱山芳樹 トロンボーンリサイタル

無限なるオールラウンドプレイヤー箱山芳樹の古今東西の世界！！

2002年4月13日(土) 19:00～

石橋メモリアルホール

入場料：全席自由3,000円(当日3,500円)

出演：箱山芳樹(トロンボーン)、高良仁美(ピアノ) プログラム：マティ「協奏曲第1番」ギャベ「スペシャル」
シューレック「ソナタ(大天使ガブリエルの嘆き)」角田健一「レクイエム」村田陽一「ファンタジー」ラルソン「小協奏曲」他

お問合せ：プロアルテムシケ 03-3943-6677 psm@proarte.co.jp 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452 都内各
有名楽器店 他

Meets PIAZZOLLA BASS-TROMBONE WORLD

西田 幹 at STB 139 (スイートベイジル)

出演 BTb 西田 幹 Pf 浜川 潮 Fl 北沢 りか Cb 上羽 康史

日時 2002年4月23日(火) Open18:00 ShowStart 20:00 Charge ¥3,500

※スイートベイジル 営団地下鉄日比谷線、都営大江戸線「六本木駅」より徒歩2分。3番出口よりアマンダの角を麻布十番方面へ。芋洗い坂を約50m下った右手。

お問い合わせ STB-139 (スイートベイジル) <http://stb139.co.jp/>

東京都港区六本木6-7-11 TEL03-5474-1395 STB139 先行予約コール03-5474-1395

西田 幹 090-8647-7399

Mail kankan@jp.bigplanet.com

<http://homepage2.nifty.com/basstrombone/>

ヴィヴィド・ブラス・トーキョウ 第6回公演

2002年5月12日(日) 於：大田区民ホール・アプリコ 大ホール

(JR蒲田駅より徒歩3分 京急蒲田駅より徒歩7分)

“客演指揮：フィリップ・スパーク”

Philip Sparke / Champion's Fanfare Philip Sparke / The centurion Philip Sparke / Soliloquy <Cornet Soloist
: Keiji Kojima> Philip Sparke / Mountain Song Philip Sparke / Between the Moon and Mexico Philip Sparke /
Rhythm and Blues G dinicu arr, G Richards / Hora Staccato Goff Richards / Midnight Euphonium < Euphonium
Soloist : Tameo Araki > arr, P Graham / Aspects of Andrew Lloyd Webber Lloyd Webber arr, Campbel / time to say
Goodbye John Miles arr, G Richards / Music

●入場料 一般3500円 高校生以下2500円

●チケット問い合わせ akdaruma@pb.highway.ne.jp

ムジカ・ムンダーナ・トロンボーンアンサンブル 特別演奏会

ロッテルダムフィル バストロンボーン奏者 ベン・ファン・ダイクを迎えて

●日時2002年7月6日(土曜日) ●開演 19:00(開場 18:30) ●於：上野文化会館 小ホール

T. Albinoni / Adejio Jhon Stevens / The Chief 他

●入場料3000円(全席自由) 5月発売開始 (問い合わせ先等、詳細未定)

葛飾吹奏楽団第25回定期演奏会

2002年7月7日(日) 13:30開場、14:00開演

かつしかシンフォニーヒルズ・モーツァルトホール

前売¥1,000、当日¥1,200 (3月15日前売開始)

指揮：津田 雄二郎、斉藤 淳之介

客演：ジョセフ・アレッシ (ニューヨークフィルハーモニー首席トロンボーン奏者)

曲目：Tボーン・コンチェルト (ヨハン・デ・メイ) ボランティアトロンボーン・コンチェルト (曲目未定) 以上、トロンボーンソロ 2002年度吹奏楽コンクール課題曲よりバレエ音楽「青銅の騎士」より (グリエール) ほか

主催：葛飾吹奏楽団共催：(財)葛飾区文化振興財団、かつしか文化工房

後援：葛飾区教育委員会、東京都一般吹奏楽連盟、日本トロンボーン協会

ホームページ：<http://web.ffn.ne.jp/~KSWO/>

問合せ：葛飾吹奏楽団事務局 三須 090-4098-1665 かつしかシンフォニーヒルズ 03-5670-2233

E-Mail：RITU@ffn.ne.jp

※ホームページからもチケットの予約受付予定 (3月15日受付開始) <http://web.ffn.ne.jp/~KSWO/tickets.html>

トロンボーン協会 総会・懇親会のご案内

懇親会に先立って平成13年度日本トロンボーン協会総会を開催します。(議題：平成13年度活動報告など)

●日時 平成14年3月24日(日) 午後4時～平成13年度総会

午後6時～トロンボーン懇親会 (終了予定：午後9時)

●場所 滝野川会館 (東京都北区西ヶ原1-23-3 Tel:03-3910-1651) 総会：301集会室(3F) 懇親会：小ホール(5F)

※交通：JR京浜東北線中里駅 or JR山手線駒込駅 南北線西ヶ原駅下車 いずれも徒歩7分程度

●懇親会費用 1,500円 (高校生以下1,000円) ※飲み物は主催者側で準備します

●参加 (予定) の方々 (H14.2現在) (敬称略) 今井順夫・郡恭一郎・三輪純生・牧瀬顕利・村上準一郎・村田厚生

・・・等々、多数予定

●申込み 参加希望者は直接会場へお越しください。

●問い合わせ 細谷道生 E-Mail：hosoya@eiki.thj.tokyo.east.ntt.co.jp Tel:090-8678-8070

他のTrbファンと交流したい！ なんでもいからアンサンブルしたい！ プロの音が聞いてみたい！ 酒飲んで吹きたい！ (成人のみ!!) 自分の楽器を自慢したい！ 日頃のアンサンブルメンバーで参加してミニコンサートを！ トロンボーンのコンサートに行きたいけど情報は？・・・こんな方々の参加をお待ちしております。

100 TROMBONES CONCERT 2001 VIDEO

昨年行われました100人のトロンボーンコンサートのビデオが2月22日発売されました。コンサートのほとんど(90分くらい.., もっとかな?)を3台のカメラで収録したビデオです。一本、感動の激安価格¥3500。

置いてあるお店はヤマハ銀座店(東京)3階楽器売り場03-3572-3134,

楽器店ダク(新大久保)03-3232-8631, シアズ(中野新橋)03-3383-8448です。

●トロンボーン協会会員の方には¥500引き(送料別¥390) 購入御希望の方はお店では割引引きをしていないので、直接村上に御注文下さい。

E-mail：thumbs-up@par.odn.ne.jp またはファックス03-3484-8577にお申し込み下さい。